

大規模事業 事前評価答申結果一覧表

保健福祉部、環境生活部

番号	区分	事業名(市町村名)	事業計画				総合評価		答申結果
			着手年度	完成年度	主な事業内容	総事業費(百万円)	対応方針案	理由	
1	施設 (基本設計後)	岩手県福祉・消費生活 関連相談拠点施設(仮称) 整備事業 (盛岡市)	R6	R9	○建設予定地 旧県立盛岡短期大学跡地(盛岡市住吉町) 敷地面積8,143.31㎡ ○構造・階数 鉄筋コンクリート造2階 延床面積4,912.05㎡	4,159	事業実施	<p>○福祉総合相談センター及び県民生活センターの各機関は、児童福祉法や消費者安全法などの関連法令の規定に基づき設置しているものであるが、施設の老朽化・狭隘化が著しいため、相談業務におけるプライバシーの確保や一時保護所における利用者の個別性を尊重した支援などの環境が整っておらず、相談拠点としての機能維持が困難な状況にある。</p> <p>○本県の社会福祉行政と消費者行政の中核的機能を担う機関として、移転整備後においても機能の充実・強化を図りながら、引き続き同様の役割を担っていく必要がある。</p> <p>○整備コストについては、両センターを県有地の同一敷地内に集約し、一体的に整備することにより建設費用及び維持管理費用の抑制に努めるとともに、環境や景観などへの影響について配慮しながら、整備基本計画に基づき移転整備を着実に推進することとし、事業実施は妥当と判断した。</p>	「事業実施」とした県の評価は妥当と認められる。

大規模事業 事前評価答申結果一覧表

教育委員会事務局

番号	区分	事業名(市町村名)	事業計画				総合評価		答申結果
			着手年度	完成年度	主な事業内容	総事業費(百万円)	対応方針案	理由	
1	施設 (基本設計後)	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校校舎等新築事業(宮古市)	2024 (R6)	2034 (R16)	<p>○建設予定地 宮古商工高等学校商業校舎(敷地面積33,530㎡)及び宮古水産高等学校(敷地面積30,916㎡)の現在地</p> <p>○構造・階数 校舎(鉄筋コンクリート造4階)延床面積16,770㎡ ※両校及び産業教育施設を一体整備 第一体育館(鉄骨造)[改修:商業校舎]延床面積1,359㎡ 第二体育館(鉄骨造)[改修:商業校舎]延床面積1,092㎡</p> <p>○外構等 グラウンド(商業校舎敷地)11,500㎡ サブグラウンド(宮古水産敷地)20,000㎡</p>	11,791	事業実施	<p>○両校とも開校以来、地域の産業技術の担い手となる人材を育成・輩出してきたところであり、今後も同様の役割を担うことから、安全で安心して学べる教育環境の整備が必要である。</p> <p>○3校舎とも建築後50年以上が経過しており、老朽化が著しく、また、宮古商工高等学校工業校舎及び宮古水産高等学校の現所在地は、浸水想定区域内であり、東日本大震災津波により被害を受けて生徒等の安全確保や授業などに支障を来したことから、早急に安全性を確保する必要がある。</p> <p>○このため、浸水想定区域外の宮古商工高等学校商業校舎敷地内に3校舎を一体的に整備することにより、安全性を確保するとともに、整備面積の削減と総事業費を抑制することが可能であり、合築による事業実施が妥当であると判断したものである。</p> <p>○なお、環境や景観についても、支障となる要因はないものである。</p>	「事業実施」とした岩手県教育委員会事務局の評価は妥当と認められる。